

【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都福祉サービス協会
施設・事業所名	高齢者福祉施設 久我の杜
取組名称	①つながり隊活動（施設内委員会活動） ②京都市高齢者すまい・生活支援事業 ③栄養士による無料栄養相談活動
取組の目的や背景・内容など	
<p>①ケアハウス入居者専用の食堂があるが、専用食堂という位置付で2015（平成23）年度までは地域に開放もされていなかった。そこで、入居者の閉じこもり予防と地域との関りを深めることを目的とした「つながり隊活動（施設内委員会活動）」を展開。以後、食堂を開放して、定期的に「映画上映会」「ふれあい教室」「地域セミナー」といった行事等を開催している。</p> <p>②京都市がモデル事業として始めた「高齢者すまい・生活支援事業」に2016（平成28）年度より参加。</p> <p>③2019（平成31）年度より、施設栄養士が配食サービス利用者を対象に、食事に関する無料の栄養相談が行えるようにした。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>①入居者のスペースであった食堂を開放することに当初は抵抗感もあった様子だが、現在では近隣住民と混じって入居者も楽しめる行事等になっている。地域の方々にとっても、無料で活動できる場所ができたため、施設が企画した行事等以外に、住民が主体的に活動する「太極拳」「将棋」「編み物教室」などのサークル活動も展開されている。また、食堂が開放されたことで施設の知名度もアップし、施設に相談しやすい環境整備が行えている。</p> <p>②久我の杜としての活動実績を残せていないが、地域で住まいに困っている方々だけでなく、一旦施設に入居したものの、もう一度地域に戻りたいと考えている利用者へ選択肢を示すことができている。</p> <p>③取り組み始めたばかりなので明確な実績が残せていないが、栄養士が配食サービスに同行するなどの広報活動を展開していることで、「栄養士に相談ができる」という雰囲気が出来つつある。</p>	



つながり隊（映画上映会）の様子

【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都福祉サービス協会
施設・事業所名	人材研修センター
取組名称	高校生のための介護初級講座
取組の目的や背景・内容など	
<p>京都福祉サービス協会人材研修センターでは「高校生のための介護初級講座」を高校や高校生がボランティア活動をしている施設へ出向いて、無料で開催しています。内容は「福祉・介護の仕事とは」「認知症を知ろう」等をテーマとした講義や「車いす体験」「高齢者疑似体験」等の実習等で、主催者のご要望に応じて臨機応変に対応しております。また、厚生労働省が推進する、「認知症サポーター養成講座」と併せて開催することも可能となっています。</p> <p>受講対象は原則、市内に通学する高校生ですが、市外に通学する高校生や中学生等についても相談させていただきます。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>参加した高校生から、以下のような声をいただいています。また、受講をきっかけに、ボランティア活動や福祉・介護の仕事に興味を持たれた方もたくさんいらっしゃいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な人が認知症になったとき、しっかりと周りの人と一緒に支えていきたいと思った。どのような対応をしたら良いのかもわかった。</li> <li>○認知症になったら、どんな症状がでてくるのか理解できた。認知症の人の気持ちを考えて、目線をしっかりと合わせて対話することの大切さを学んだ。</li> <li>○高齢者疑似体験をやってみて、思うように体を動かせないと生活しづらいことがわかった。色々と気づくことができ、高齢者に対する見方が変わった。</li> </ul>	



【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都福祉サービス協会
施設・事業所名	高野事務所
取組名称	認知症カフェいきいき
取組の目的や背景・内容など	
<p>毎月第3日曜日に、左京区岩倉で認知症カフェ「いきいき」を開催しています。高野事務所のご利用者様からのご厚意により、ご自宅の一部をお借りし、高野事務所が事務局となり運営しています。認知症当事者・ご家族を中心にして、地域の方、介護事業者等、誰もが気軽に参加出来、互いに笑顔で楽しい時間を共に過ごせる場を目指しています。</p> <p>ご家族からの様々な相談にも、介護・福祉専門職が個別に対応させてもらっています。スタッフの多くが、介護福祉士であるホームヘルパーですので、排泄・食事・移動等の介助も可能です。</p> <p>開催日時: 毎月第3日曜日午後 1 時半～3時半          開催場所: 京都市左京区岩倉東五田町30番地          会 費: 200円(茶菓子代)          連 絡 先: 075-724-1231(高野事務所)</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>会場が民家であり、家庭的な雰囲気の中で、認知症当事者・ご家族の方と一緒にお菓子作りをしたり、歌や手芸、ゲーム等を楽しんだりして、笑顔あふれる楽しい時間を過ごしていただいています。地域の方々も歌の伴奏者等で協力していただけるようになり、地域における認知症ケア啓発の一助となっています。また、介護相談を受ける中で、様々な介護サービスに繋がっていくことも多くあり、当事者・ご家族が抱えてこられた課題が少しずつ解決していくこともあります。更に、スタッフであるヘルパー自身も、業務で得た知識や経験をカフェで活かすことが出来て、仕事のやりがいを高めることにもなっています。</p>	

【カフェの様子】



【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都福祉サービス協会
施設・事業所名	高野事務所
取組名称	山間地への訪問介護サービス
取組の目的や背景・内容など	
<p>高野事務所では、「サービスのない所にサービスを」を合言葉に、介護保険制度創設以来、訪問系サービスのなかった、左京区の山間地「別所・花背・広河原」エリアで、2017年8月から訪問介護サービスをスタートしています。現在週 1 回 6 名のご利用者様へのサービス提供を行っています。</p> <p>ここに至るまでには、各学区社協や地域包括支援センターが、地域の高齢化と過疎化に関わる福祉課題を一つひとつ解決するため、地域住民の方々のニーズを掘り起こす作業を継続して行ってこられ、事業所としてもスムーズにサービス導入が出来ました。</p> <p>地域においては、訪問看護等他の訪問系サービスの導入も望まれており、それらのサービスとの連携が出来るようになれば、地域における在宅介護の質をさらに高めることに繋がっていきます。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>ご利用者からは、「ヘルパーが来てくれるようになって、気持ちが前向きになった」「ヘルパーが来ると家の中が明るくなる」等々の喜びの声をいただいています。担当するヘルパーたちも、「車で片道1時間以上かけての訪問だが、心待ちにしてくれている利用者さんの笑顔に出会うと、この仕事にやりがいを感じる」と積極的に取り組んでくれています。雪が舞い凍てつく寒さの中でも、休むことなく継続出来てきたのも、この地域の自然豊かな風土とその中で育まれた人々の思いやりの深さにふれることが出来るからだと思っています。</p>	



【京都新聞社提供】



【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都福祉サービス協会
施設・事業所名	南総合ステーション
取組名称	ラジオ体操
取組の目的や背景・内容など	
<p>南総合ステーションでは、地域の方のご協力・ご理解をいただき毎週火曜日と金曜日の朝、地域住民の方と従業員と一緒にラジオ体操に取り組んでいます。場所は屋外駐車場です。夏は打ち水の工夫をし、心地よい汗を流し、冬にはこわばった身体をほぐす機会になっています。</p> <p>体操の後には、お茶でほっこりしたり、会話を楽しんだりしています。</p> <p>毎年2回茶話会を開き、頭の体操や介護相談、訪問看護師による健康相談・血圧測定などを行っております。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>参加者の方からは「楽しみにしている」「体調が良くなった」との声をいただいています。1日の始まりに、地域の風を感じることができるラジオ体操です。どなたでもご参加可能です。どうぞお気軽にお越しください。従業員一同、お待ちしております。</p>	

【ラジオ体操の様子】



【健康相談、血圧測定】



【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都福祉サービス協会
施設・事業所名	京都市錦林児童館
取組名称	おもてなしプロジェクト
取組の目的や背景・内容など	
<p>児童館を利用する子どもが、地域に出向き、高齢者をおもてなしするもの。</p> <p>おもてなしの内容として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 認知症サポーター講座の受講と地域の声掛け訓練への参加</li> <li>② 地域のデイサービスとグループホームで、歌や踊りを一緒に楽しむ</li> <li>③ 地域の社会福祉協議会の「茶話会」へ訪問し、折紙の折り方を教えあう</li> <li>④ 地域の社会福祉協議会の「囲碁・将棋教室」へ訪問し、対戦交流する</li> <li>⑤ 地域民生協議会がご紹介くださった地域の高齢者のご家庭へ子どものサンタクロースが得意技を持って訪問</li> </ul>	
取組を行って良かった点など	
<p>認知症サポーター講座では、認知症への理解と高齢者への思いを深めている様子が見られ、その後の訪問おもてなしの際には子どもなりの言動への心配りが見られた。</p> <p>子どもたちは、地域に生活する人々の多様さを知り、自分たちが優しくおもてなしすることで高齢者から笑顔と感謝の気持ちが返ってくることに喜びを見つけていた。</p>	



将棋個人戦の様子



折紙交流の様子①



折紙交流の様子②



折紙交流の様子③



認知症声掛け訓練の様子



認知症サポーター講座の様子

【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都福祉サービス協会
施設・事業所名	京都市明德児童館
取組名称	認知症の方にやさしい街づくり
取組の目的や背景・内容など	
<p>当児童館の近くにある高齢者の支援機関や地域の方々と連携、協力して、子どもたちが高齢者や認知症のある方を理解し、自発的に関わりが持てるよう取り組んでいます。</p> <p>具体的には、子どもたちがまず認知症サポーター講座を受講し、その後、「声かけ体験」として、支援機関の専門スタッフのご協力のもと、迷っている認知症高齢者（役を保護者や地域の方が担当）を捜索し声かけをする という取組を行っています。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>取組を通じて、地域の方々からは、子どもたちの姿を見て「あなたたちがいてくれたら、私たちは年老いても安心してここで暮らしていける」という言葉をいただきました。</p> <p>また子どもたちにとっては、認知症への理解や地域の方々への親しみを深めるきっかけとなり、中には「認知症の人も暮らしやすい街にしたい」という思いをもった子どももいました。</p> <p>今後も、子どもを中心に幅広い世代の関わりが増え、子ども自身が地域社会の一員として役に立っていることを実感し、また大人にとっては安心して暮らせる地域であることを実感できるような活動を、地域の支援機関等と連携しながらできればと思っています。</p>	



【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都福祉サービス協会
施設・事業所名	京都市修徳児童館
取組名称	松原通 <sup>みち</sup> の駅
取組の目的や背景・内容など	
<p>松原通界限活性化活動プロジェクト委員会（松原PJ）との共催で、「松原通の駅（まつばらみちのえき）」を開催。</p> <p>秋（11月）は松原通の店舗の軒先や住宅の一部またはガレージを子どものおそび場に提供していただき、通りで子どもも大人も一緒に遊び、自分たちの住んでいる地域を知り、かかわりを広げていく機会としている。</p> <p>今年度は乳幼児クラブの保護者が運営する「ちびっこひろば」、学童クラブ保護者が運営する「あおぞらだかしや」、交通安全警備、修徳カレーの日スタッフと高校生世代ボランティアが運営する「コドモカレー」、松原PJ協力団体による「スケッチラリー」、子どもが自由に制作や遊びを作るコーナー、「コドモまちカメラ写真展」、「クリーン大作戦」、「わくわくパレード」など通りを行きかう楽しみや仕掛けを作った。</p> <p>また春（3月）には、松原PJの方や、消防分団、少年補導、交通対策協議会等との共催で、子どもや子育て家庭を対象とした防災の取り組み「地震について考える日」を実施している。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>地域の方々からは、通りに子どもや乳幼児親子がにぎやかに行きかうことで、「この地域にもこんなに子どもたちがいるんだ」と認知していただき、子どもたちのためにと軒先やガレージを貸していただいた方々が、その後の子どもたちの登下校時などの見守りや声掛けをしていただいている。</p> <p>また子どもたちも「ここで遊んだで」とか「みちのえきの時の駄菓子屋さんの場所や」などと話している。</p> <p>地元地域とマンション居住者との交流が地域の中でとりにくい中、少しでも顔のつながる関係づくりや、そこに暮らすもの同士が意識し合うきっかけとなっている。</p>	

